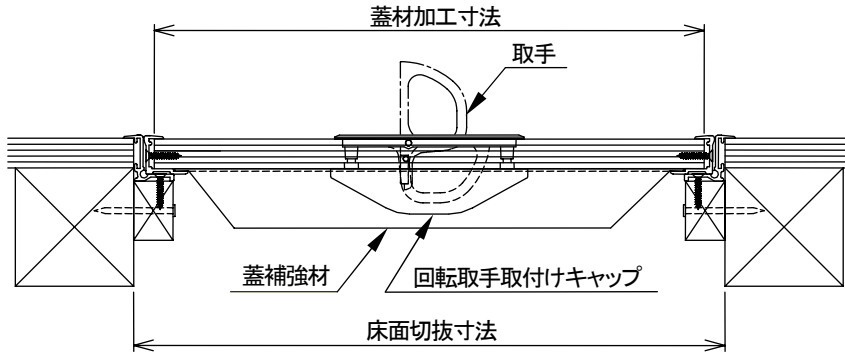


## ホーム床点検口 HFC・HFCE型

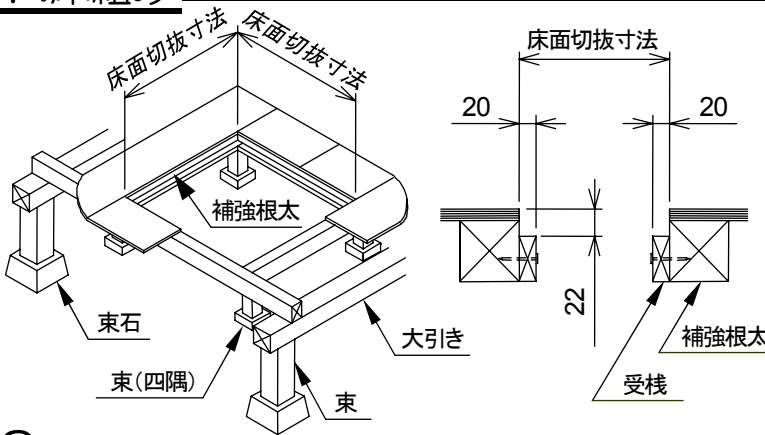
### ◆納まり



■付属部品明細表

付属部品名	入数			
	20	30	46	60
取手	1	1	1	1
回転取手取付けキャップ	1	1	1	1
なべ小ねじ (M4×16)	2	2	2	2
平座金 (呼び4)	2	2	2	2
パーティビス (3×16)	8	16	16	16
蓋補強材	—	—	1	1
なべタッピンねじ (4×12)	—	—	4	4

### 1.床組み



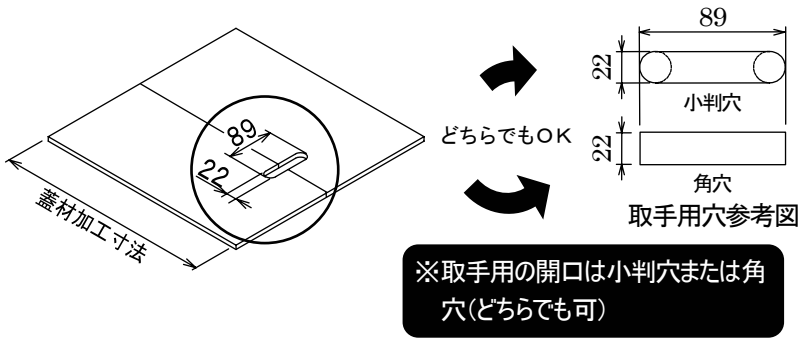
床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。

(mm)

タイプ	床面切抜寸法	タイプ	床面切抜寸法
20	200×200	46	460×460
30	303×303	60	606×606

- 床仕上面から22mmの段になるように受棧を、まわします。
- 床の強度は、束を入れ十分確保してください。
- 切り抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- 改築の場合、下面の配管にご注意ください。

### 2.蓋材の加工



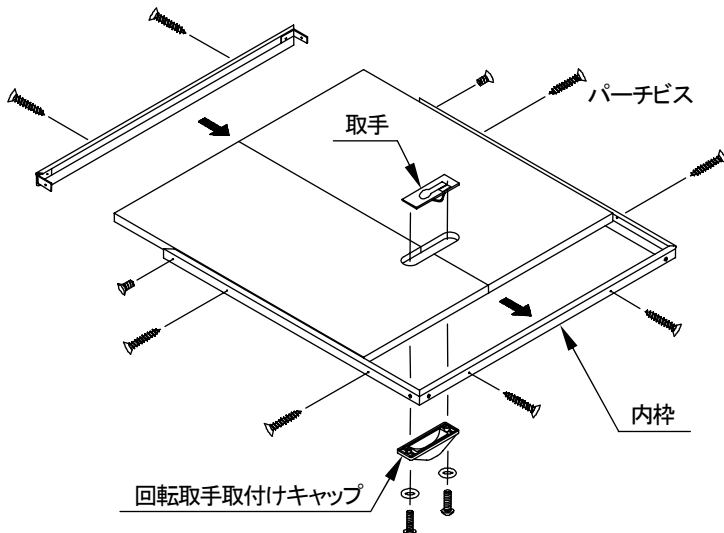
蓋材加工寸法に、蓋材(切り抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口、小判穴または角穴(22×89)を設けます。

(mm)

タイプ	蓋材加工寸法	タイプ	蓋材加工寸法
20	179×179	46	439×439
30	282×282	60	585×585

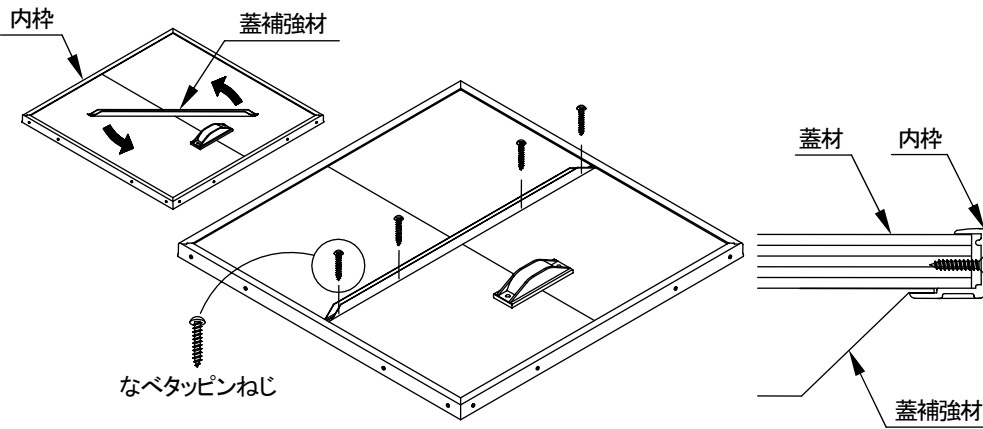
- 厚みは、15mmになるようにしてください。
- 板材の場合、板の継目が中央にくるように切断してください。

### 3.蓋の組立



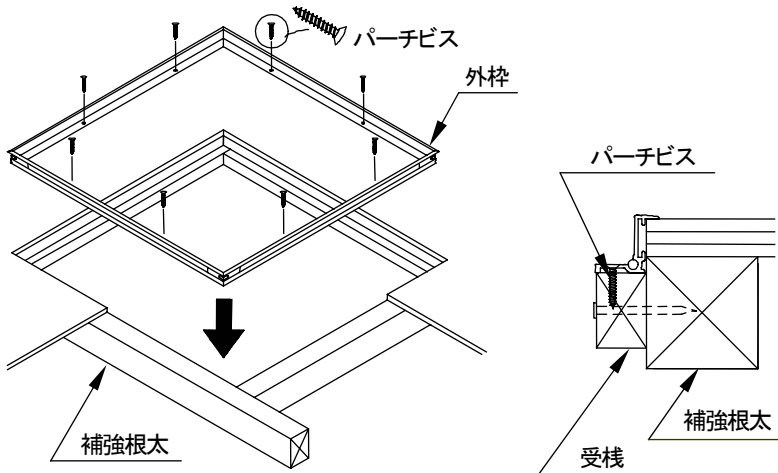
- コーナー金具と共に、内枠の一边を両サイドの枠のねじを外して取り外します。
- 加工した蓋材を内枠にはめ込みます。
- 外した内枠を元のようにねじで組み立てます。
- 内枠の外側から、内枠と蓋材をパーティビスで固定します。
- 蓋材に、なべ小ねじ(M4×16)で取手と回転取手取付けキャップを取付けます。

## 4. 蓋補強材の取付 (46・60タイプ)



- ・蓋補強材は、蓋材の裏面と内枠との間の隙間に回転させてはめ込み、なベタツピンねじで固定します。このとき、板の継目と直角になるようにしてください。
- ※20・30タイプは蓋補強材を使用しません。

## 5. 外枠の取付



- ・開口した床面に外枠をはめ込みます。
- ・外枠と床面、外枠と受棧の間に隙間が生じないように注意し、パーティビスで外枠を受棧に固定した後、蓋をのせて下さい。

### 施工上のお願い

蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は1mm以内としてください。

## ●外枠受けアンクル使用の場合

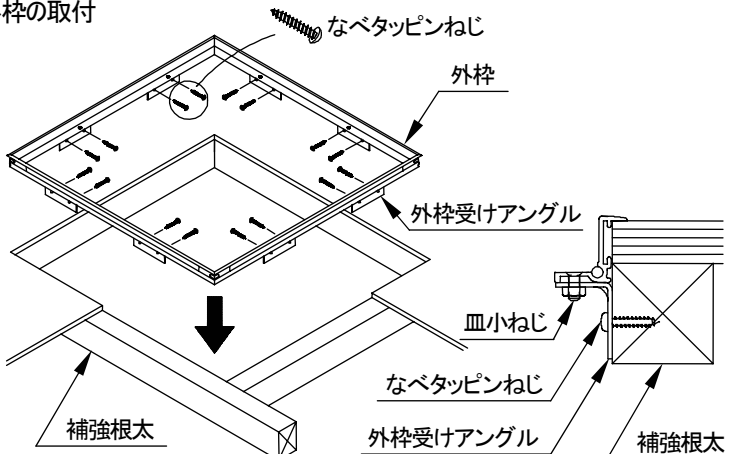
### 1. 床組み

受棧をまわす必要はありません。他は、通常の施工方法と同じです。

### 2. 蓋材の加工～4. 蓋補強材の取付(46・60タイプ)

通常の施工方法と同じです。

### 5. 外枠の取付



外枠受けアンクルはオプション品です。

- ・外枠に皿小ねじとナットで外枠受けアンクルを取付け、開口した床面に外枠をはめ込みます。
- ・外枠と床面、外枠と外枠受けアンクルとの間に隙間が生じないように注意し、なベタツピンねじで外枠受けアンクルを補強根太に固定した後、蓋をのせてください。

### 施工上のお願い

蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は1mm以内としてください。

## ⚠ 使用上の注意

- ・指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- ・床面や枠材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- ・転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。